

© EPODOC / EPO

PN - JP7047144 A 19950221
PD - 1995-02-21
PR - JP19920213178 19920720
OPD - 1992-07-20
TI - SPREAD OF FIRE PREVENTION STRUCTURE
IN - SAKAMOTO TOMIHIKO
PA - YUNAITO BOARD KK;K S KONSARUTO SERVICE KK
IC - A62C2/06 ; E04B1/94 ; E06B5/16
CT - JP53048528U U []; JP53049566U U []; JP52113532 A [];
JP61067583 A []; JP56050077U U []; JP53128194 A []

© PAJ / JPO

PN - JP7047144 A 19950221
PD - 1995-02-21
AP - JP19920213178 19920720
IN - SAKAMOTO TOMIHIKO
PA - YUNAITO BOARD:KK; others:01
TI - SPREAD OF FIRE PREVENTION STRUCTURE
AB - PURPOSE:To prevent the spread of fire by mounting a non-combustible fireproofing sealant which foams below the temperature of ignition of wood or paper to seal a gap between an opening/closing part and a mounting frame on either one of opposed surfaces of the opening/closing part and the mounting frame when a fire occurs.
- CONSTITUTION:A door1 is mounted on a rail3 fastened on an end face of one wall3 free to open or close with a hinge4. Another rail 6 is mounted on the end face of the other wall5. Fire proofing agents 7-10 which foams below the temperature of ignition of wood or paper are buried into vertical grooves on the opposed surfaces between the door 1 and the rails 3 and 6. Some fire proofing sealants commercially available foam below150 deg.C to expand to a volume larger than five times. When the fire proofing agents7-10 are also applied not only vertically but also on a vertical frame, a complete shielding of the spread of fire is accomplished. The fire proofing sealant is desired to be covered to prevent degrading as it is easy to degrade with less durability in general.
I - A62C2/06 ;E04B1/94 ;E06B5/16

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-47144

(43) 公開日 平成7年(1995)2月21日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 2 C 2/06	5 0 2	8702-2E		
E 0 4 B 1/94	F			
E 0 6 B 5/16				

審査請求 有 請求項の数 2 F D (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願平4-213178

(22) 出願日 平成4年(1992)7月20日

(71) 出願人 000138576

株式会社ユナイトボード

東京都江戸川区中央2丁目23番16号

(71) 出願人 392023522

有限会社ケイエスコンサルトサービス

東京都港区南麻布5-3-1

(72) 発明者 坂本 富彦

東京都江戸川区中央2丁目23番16号 株式

会社ユナイトボード内

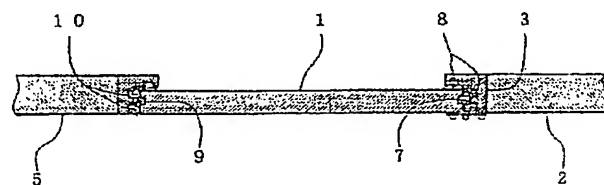
(74) 代理人 弁理士 松田 省躬

(54) 【発明の名称】 延焼防止構造

(57) 【要約】

【目的】 建物の開閉部の隙間からの延焼を防止する。

【構成】 高温により発泡する防火シール剤を、開閉部あるいは枠材の少なくとも一方に配設した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 開閉部と取付枠との対向面のいずれか一方に木材あるいは紙の着火温度以下にて発泡し、開閉部と取付枠との間隙をシールする不燃性防火シール剤を取り付けて成る延焼防止構造。

【請求項2】 防火シール材を劣化防止剤でカバーして成る請求項1記載の延焼防止構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、建築物のドア、窓等の開閉部における延焼防止構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来は、ドア、窓等自体および枠あるいは枠自体を不燃、耐火材で構成したものが存する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、火はドア、窓等の開閉部とこの周囲の枠、枠との間隙を通過し、他の室内へ侵入し延焼しており、従来のように開閉部あるいはその周囲の枠、枠の構成材を不燃耐火材としても、延焼が防止できない。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、ドアと枠、あるいは窓と枠等の開閉部とその取付枠間に存する間隙を火災の発生した際にシールさせるようにしたものである。そのために、本発明は、開閉部の周縁と取付枠との対向面のいずれか一方の面に開閉部あるいは取付枠の着火温度以下で発泡し、かつ不燃性である防火シール剤を付設、突設、埋設等により取付けるようにしたものである。

【0005】

【実施例】 図に示す実施例、断面図に従って説明する。

【0006】 ドア1が、一方の壁2の端面に固着された枠3にヒンジ4にて開閉自在に取付けられている。他方の壁5の端面にも枠6が取付けられている。ドア1と枠3、6との対向する面には、それぞれ木材あるいは紙の着火温度、前者にあつては、約350℃、後者にあつては約260℃以下の温度で発泡する防火シール剤7～10が縦溝内に埋設されている。この防火シール剤としては、例えばオーストリア、ケミボツリンツ社製のインツメックス（登録商標）が考えられる。この製品は、150℃以下で発泡し、図2で示すように5倍以上の体積に膨脹し、ドアと枠との間隙11、12をシールする。防火シール剤7～10は、縦方向のみならず、上下枠にも行っておくと、延焼の完全な遮断が期せる。尚、防火シール剤は、一般的に耐久性が悪く、劣化しやすいので、劣化防止のために防火シール剤の表面をクリヤーシール等でカバーしておくとも良い。

【0007】

【発明の効果】 本発明によれば、ドア等の隙間から火が侵入することを回避できるので、従来ドア内の戸廻りに延焼が生じ、火の侵入が行われていたが、そのようなおそれが全く無くなる。しかも、本発明は、ドアあるいは枠の表面に、あるいは溝を形成して防火シール剤を配設するだけで良いので、製作が容易に行える。

【図面の簡単な説明】

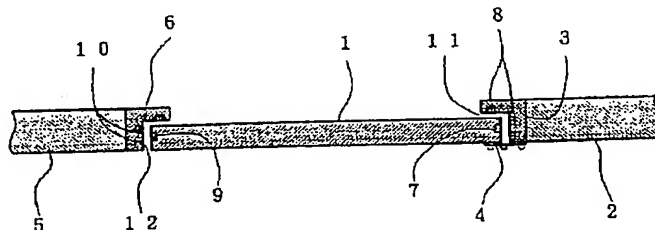
【図1】 断面図

【図2】 防火シール剤発泡時を示す断面図

【符号の説明】

- 1 ドア
2、5 壁
3、6 枠
7～10 防火シール剤

【図1】



【図2】

